

第9期 東海村高齢者福祉計画・介護保険事業計画（案）の意見公募の結果

1.意見公募の結果

提出件数 1 団体（6 件）

【提出意見の概要】

No.	計画の項目	意見の要約
1	【基本理念】「いきいきと」暮らせるまち ・若年層の人材育成に努め、福祉の担い手確保を図っていきます	具体的な内容を示してほしい。
2	【基本理念】「安心して」暮らせるまち ・自家用車がなくても移動できる手段のあること	他自治体はどのようなものを考えているのか。
3	【基本理念】「安心して」暮らせるまち ・避難支援が必要な在宅高齢者については、自治会や関係機関等の連携強化を図る	考え方として自治会会員に限るのではなく、自治会会員以外の取組を示してほしい。
4	【施策目標 1】 ・参加者として地域活動へ参加する意向	参加したくないのはなぜか。又参加しても良いとの回答で、どうして参加しないのか。
5	【施策目標 1】 ・1-2 高齢者クラブへの支援	事業開催場所までの交通手段の確保が必要。
6	【施策目標 2】 ・アンケート調査から外出を控えている理由	「交通手段がない」に対する具体的な対策は、新型コロナウイルス感染症の 5 類移行に伴った具体的対策を示してほしい。

2. 提出意見に対する村の考え方

No.	意見に対する村の考え方
1	<p>本計画の基本理念の一つ『「いきいきと」暮らせるまち』は、寝たきりや認知症といったどのような状態の高齢者にも一人一人に存在意義があり、だからこそ見放されることのない社会、そして人と人、資源が結びついて、繋がってられる社会があつてこそ、高齢者が心身ともに健康で、一人一人が輝き生きがいを感じられる社会に繋がることを想定し理念の一つに掲げています。</p> <p>今後、急速に少子高齢化が進展し、介護人材を量と質の両面から確保していくため、その基盤整備が必要不可欠となる中、介護分野への介護未経験者の参入促進や不安の払拭、就労環境等の改善に繋がる手立て等が重要となることが想定されます。特に若年層の人材育成に努めていくことで、基盤強化に資することが想定され、高齢者が将来的にどのような身体状態になっても不安を感じることなく、自分らしく安心して充実した日常生活を送ることのできる環境に結びつくものと考えます。</p> <p>以上のような考え方のもと、具体的には、下記施策において推進したいと考えております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 施策 2-1-2：地域を巻き込んだ高齢者の見守りや課題解決のための活動 ■ 施策 2-3-2：認知症の方を見守るサポーターの養成や支援などを通して高齢者を支える若年層の人材発掘や育成 ■ 施策 2-6-1 及び施策 2-6-2：福祉専門職に従事する方の資格取得やより働きやすい環境づくりの支援

2	<p>本計画の基本理念の一つに掲げる『「安心して」暮らせるまち』は、「居住環境」・「身体状況」・「金銭面」・「地域との関わり」・「災害」等あらゆる問題に対して安定した生活を継続できることが理念の実現に繋がるものと想定しています。このうちの「居住環境」には、移動に関する問題も含んで考えており、本計画の重点事業と位置付けているところです。</p> <p>ご質問の他の自治体で考えられている移動手段は、各自治体の地域公共交通計画などから、主なものには鉄道、バス（路線バス、コミュニティバス）、デマンドタクシー、自家用有償旅客運送等が挙げられます。いずれも地域の実情に合わせ、既存資源の路線の再編成や各移動手段のネットワーク化などによる利便性の向上を目指していることがみられます。</p>
3	<p>本計画の基本理念の一つに掲げる『「安心して」暮らせるまち』は、「居住環境」・「身体状況」・「金銭面」・「地域との関わり」・「災害」等あらゆる問題に対して安定した生活を継続できることが理念の実現に繋がるものと想定しています。このうちの「災害」には、在宅高齢者の避難支援に関する問題も含んでいます。</p> <p>国の指針（避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針）においては、災害時における高齢者の避難には、地域ぐるみの支援が必要であるものと明記されており、地域による「共助」の力が何よりも必要不可欠となってきます。</p> <p>本村においても、災害時に避難支援が必要な在宅高齢者は、自治会会員に限らず、在宅高齢者の避難支援についてまとめております東海村災害時避難行動要支援者避難支援全体計画（通称「災援プラン」）において「避難行動要支援者」として位置づけ、地域の協力を求めながら「個別避難計画」の作成など災害時の避難支援の実効性を高めるための取組を行っております。</p>
4	<p>地域活動へ参加したくない理由、参加しても良いという回答をされた方の参加しない理由について回答する設問を設けていないため明確にはお答えできませんが、「参加したくない」を選んだ回答者を介護認定別にみますと、認定を受けている方の割合が高くなる傾向がみられ、ご自身の身体機能の状況が参加意向に影響を与えていることが想定されます。また、参加しても良いと回答された方を小学校区別でみますと、地区により割合が異なることから、地域の状況（地域の繋がりや強さ、日常における声掛け等）が参加意向に影響を与えている面のあることも想定されます。</p>
5	<p>村高齢者クラブへの支援は、高齢者の生きがい、健康づくりに寄与するものと考えておりますことから、高齢者クラブがより活動しやすい環境づくりに努め、交通手段の確保も含め抱えている課題等については、当該団体と密に連携しながら取り組んでまいります。</p>
6	<p>移動手段の確保においては、NO.5でもございました高齢者クラブの活動のほか地域におけるサロン活動といった参加についても、足問題が確保できないために参加の低下に繋がることが想定されます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症への対応を含め、村の実情に合わせたより利用しやすい交通手段について、関係各課や機関、住民等が意見を介せる場などを活用し、ニーズに合った手立てや意見を汲み取りながら実現可能な手法を検討してまいります。</p>